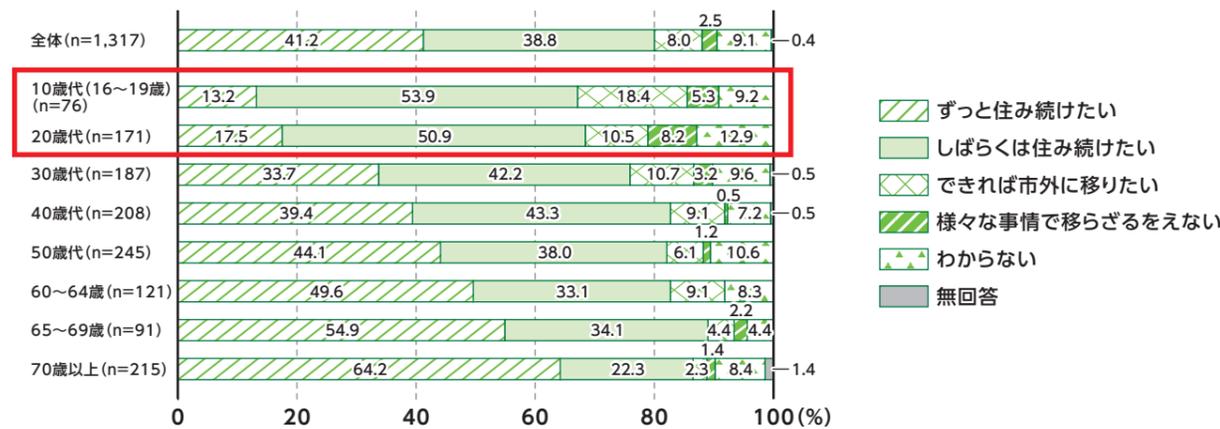


4 | 重点戦略(第3期豊明市総合戦略)

本計画策定にあたり実施した市民意識調査では、「ずっと住みたい」と「しばらくは住みたい」の割合をあわせて80.0%と高くなっています。一方で、年代別で見ると16-19歳が67.1%、20代が68.4%と若者の割合が低くなっています。

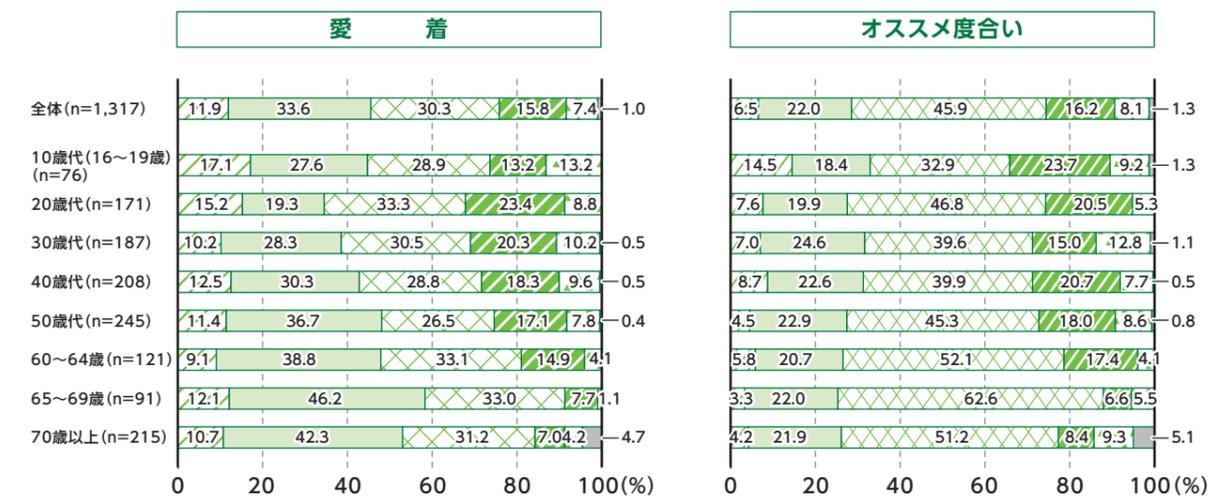
(1) 居住意向



出典:市民意識調査(2024年6月)

また、「豊明市に愛着を感じている人」の割合は45.5%となっている一方で、「オススメしたい人」の割合は28.5%と低くなっており、各種インタビューにおいても外から人を呼び込めるほどの魅力が少ないと感じている市民が多いことも課題となっています。

(2) 愛着、オススメ度合い



出典:市民意識調査(2024年6月)

さらに、人口増減の動向を見ると、20代~30代は男性と比べて女性の方が減少傾向にあることや、近隣市町と比較すると高齢化率が高く、人口減少が早く進むことが考えられます。人口減少や少子化に対応するため、豊明市が居住地として選ばれ、住み続けたいようなまちづくりに取り組むことが求められます。

そこで、本計画で掲げるまちの未来像「未来へつなぐ みんなでつくる しあわせのまち とよあけ」を実現するとともに、誰もが安心して住み続けられ**若者・女性にも選ばれるまちづくり**を進めるため、総合戦略を本計画の重点戦略とします。

加えて、基本構想の施策大綱で整理した4つの分野と整合を図る形で戦略【プロジェクト】を設定したうえで、当該分野内での単位施策を中心に施策を構成しますが、分野や庁内の部署などに捉われないことなく、横断的で総合的な取り組みの展開を図ります。

戦略 1 こどもの育ちと学び創生プロジェクト

- 施策
- 1 こどもが自分らしく過ごせる居場所をつくる
 - 2 子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
 - 3 地域全体でこどもの主体性を育む環境を整える

戦略 2 暮らしの安心創生プロジェクト

- 施策
- 1 誰もが安心して、ふつうに暮らせるまちをつくる
 - 2 市民が互いに支えあい、楽しく元気に活動できるまちをつくる

戦略 3 安全で快適な地域環境創生プロジェクト

- 施策
- 1 生活に不自由なく便利なまちをつくる
 - 2 快適な居住環境と自然・公園が調和するまちをつくる
 - 3 多様な主体が関わる機会を充実させ、地域でのつながりをつくる

戦略 4 ひとが集うまち創生プロジェクト

- 施策
- 1 地域資源を活かしたまちづくりを進め、誇り・愛着を形成する
 - 2 働きやすい環境を整備し、働く場所として選ばれるまちをつくる



戦略 1 こどもの育ちと学び創生プロジェクト



こどもの育ちと学び創生プロジェクトでは、こどもが自分自身を肯定し、自分らしく過ごすための環境づくりに取り組みます。また、子育てをする人が安心して子どもを産み育てられるまちをつくりたい。あわせて、地域ぐるみでこどもを支え、見守るといったこどもの周辺環境を整えるための取り組みを推進します。

●重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
こどもが心豊かに育ち、子育て世代が住み続けられるまちだと思ふ市民の割合	73.3%	78.8%
多様性を尊重した学びの場が広がり、子どもたちが一人残らず心満たされるまちだと思ふ市民の割合	45.1%	57.3%
自分のことが好きな子どもの割合	74.4%	80.8%
0～14歳の子どもの数	8,250人	8,064人

施策1 こどもが自分らしく過ごせる居場所をつくる

こどもが自分自身を好きになり、自分らしく過ごせるように、居場所づくりや不登校支援に取り組みます。

また、こどもの視点に立ち、一人ひとりのこどもが個人として尊重される地域社会づくりに向けて、こどもの権利条例の制定を進めるとともに、「とよあけ こどもまんなか まちづくり」を推進します。

さらに、こどもが安心して遊べるようにするとともに、家族や友達と遊びに行きたくする魅力的な公園の再整備を目指します。

施策2 子どもを安心して産み育てられるまちをつくる

多様な保育ニーズに対応するため、保育サービスの充実を図るとともに、安全安心な保育環境を整備します。

また、豊明市で子育てがしたい、あるいは子育てがしやすいまちと感ぜられるよう、妊娠から出産後まで切れ目のないサポートを提供し、ひとり親家庭や外国にルーツを持つ人々も、気軽に子育て相談などができる体制を整えます。

施策3 地域全体でこどもの主体性を育む環境を整える

こども自身や保護者だけでなく、地域全体でこどもの個々の問題に向き合い、解決に向け、少しでも前向きに進めるため、スクールソーシャルワーカーやNPOなどの多様な主体と連携し、こどもを支える環境づくりに努めます。

また、児童の登下校の見守りや地域の祭り・イベントにこどもが関わることを通じて、こどもの地域への愛着を醸成するとともに、こどもが主体的に活動できるよう支援します。

さらに、質の高い学びに参加できるように、教育内容や教育環境の変化に対応したICT環境の充実を図ります。



戦略 2 暮らしの安心創生プロジェクト



暮らしの安心創生プロジェクトでは、誰もが「ふつうに暮らせるしあわせ」を実感できるまちづくりをより一層進めるとともに、市民一人ひとりが生きがいを持ち、支えあいながら、元気で楽しく過ごすための取り組みを行います。

●重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
医療や介護の環境が整っており、誰もが安心して暮らせるまちだと思ふ市民の割合	73.2%	79.6%
人と人が寄り添い、つながりながら支えあうまちだと思ふ市民の割合	52.7%	58.3%
誰もが健康で楽しく活動できるまちだと思ふ市民の割合	61.7%	66.3%

施策1 誰もが安心して、ふつうに暮らせるまちをつくる

誰もが「ふつうに暮らせるしあわせ」を実感し、日常生活を営むことができる地域共生社会を築くため、医療や介護の枠を超えて、市民、大学、企業など、地域のさまざまな主体が関わり、市民一人ひとりの暮らしに寄り添うことで、重層的支援体制のさらなる充実を図ります。

施策2 市民が互いに支えあい、楽しく元気に活動できるまちをつくる

市民同士が互いに気にかけてあひながら、支えあう地域社会をつくるため、「おたがいさまセンターチャット」をはじめ、市民同士が無理のない範囲で生活の困りごとを解決しあえる環境づくりに努めます。

また、一人ひとりが生きがいを持ち、元気に活動できるまちをつくるため、共生交流プラザ「カラット」などで市民大学「ひまわり」をはじめ、スポーツや文化活動、趣味の活動に楽しく取り組む環境を整えます。



まちかど運動教室



戦略 3 安全で快適な地域環境創生プロジェクト



安全で快適な地域環境創生プロジェクトでは、便利で快適なまちづくりを自然環境と調和しながら進めるとともに、多様な人が関わる機会を充実させ、地域のつながりを育むための取り組みを進めます。

●重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
お互いを尊重し、それぞれの個性や強みを活かして つながりあえる安全安心なまちだと思ふ市民の割合	58.0%	64.8%
気軽に外出でき、生活しやすいきれいなまちだと思ふ市民の割合	78.9%	83.8%
いつまでも住み続けられる、安全で快適なまちだと思ふ市民の割合	75.2%	81.0%
転入超過数(転入者数-転出者数)	-212人	1,800人(累計)

施策1 生活に不自由なく便利なまちをつくる

生活の利便性が高く、不自由なく過ごせるまちをつくるため、ひまわりバスやデマンド型交通「チョイソコとよあけ」などを通じて、気軽に外出でき、買い物や通院に困らない環境をつくります。

また、充実した道路環境や市外へのアクセスのしやすさなど、豊明市の強みを活かして、お出かけしやすいまちとしてアピールします。

施策2 快適な居住環境と自然・公園が調和するまちをつくる

若者や子育て世代に豊明市を新たな居住地として選んでもらうため、居住誘導区域の整備を促進し、名古屋市に隣接し、国道1号・23号、伊勢湾岸自動車道が横断し、名古屋岡崎線が整備される立地特性を活かし、快適な居住環境を整えるとともに、移住・定住に関する取り組みを進めます。

また、花いっぱい運動やフラワーボランティア活動、アダプトプログラムなどの活動を通じて、豊かな自然環境や公園に親しむための取り組みを推進します。

施策3 多様な主体が関わる機会を充実させ、地域でのつながりをつくる

便利で安全、快適なまちをつくるためには、豊明市に関わる多様な主体がつながり、連携・協働する場面が多く生まれることが重要です。そのため、地域活動や防災・防犯活動、多文化共生などの取り組みを通じて、人と人がつながる機会を創出するとともに、協働の基盤づくりを進めます。



戦略 4 ひとが集うまち創生プロジェクト



ひとが集うまち創生プロジェクトでは、地域への誇りや愛着を育むための取り組みを行い、市内外から人が集う魅力を磨き上げるとともに、市内で働きたくなる、働く場所として選ばれるためのまちづくりを進めます。

●重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値 (2024年度)	めざそう値 (2031年度)
歴史や文化が受け継がれ、 地元愛あふれ訪れたいまちだと思ふ市民の割合	46.2%	52.8%
自分らしく働く場所があり、 産業が盛んな活気あるまちだと思ふ市民の割合	29.2%	37.8%

施策1 地域資源を活かしたまちづくりを進め、誇り・愛着を形成する

地域への誇りや愛着を育み、豊明市に関わる全ての人々が豊明市のことをオススメしたくなるように、古戦場まつりや地域の祭り、イベントなどを通じて多世代が地域に関わる機会を提供します。また、JAの産直所や花マルシェなどで、地元の農産物や特産品に触れ、身近に感じることができるよう機会を創出します。

市内で余暇を過ごしたくなり、市内外から人が集う魅力的なまちを実現するため、都市拠点・地域拠点のブランディングを推進し、それぞれの特色や強みを磨き上げ、発信することで、訪れる人々に新たな楽しみや発見を提供します。

施策2 働きやすい環境を整備し、働く場所として選ばれるまちをつくる

市民のみでなく市外の人からも働く場所として選ばれるまちを目指し、企業立地支援や社宅整備支援など、働く場所の整備を進めるとともに、雇用を支えるため、市内企業の持続的な経営支援を行い、起業・創業支援に取り組みます。

また、ユニバーサル就労の推進、子連れ出勤の推進など、時代に合った多様な働き方を支える仕組みを充実させるとともに、こどもが豊明市の産業に触れ、豊明市で働きたいと思ってもらえるような環境づくりを進めます。



豊明秋まつり